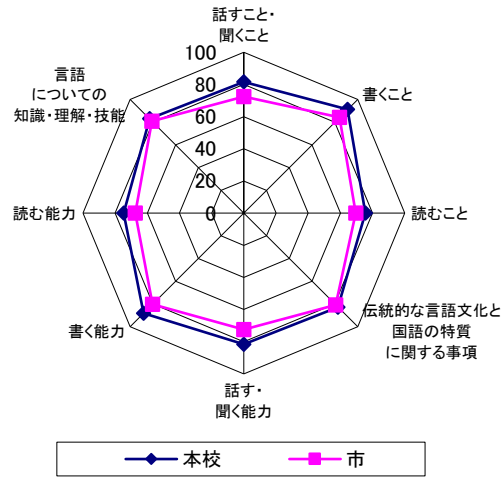


宇都宮市立星が丘中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	81.6	72.4	70.5
	書くこと	91.2	84.1	70.0
	読むこと	75.5	69.5	64.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	82.7	80.8	77.7
観点別	話す・聞く能力	81.6	72.4	70.5
	書く能力	88.1	80.2	68.0
	読む能力	74.7	67.5	62.4
	言語についての知識・理解・技能	82.9	80.8	77.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○領域の正答率は、市の平均を9.2ポイント上回っている。 ●聞き手の意見を反映しながら、論理的な意見を構成する問題に課題が残った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・根拠を明確にし、正しい意図で伝わる表現力や、語彙力を指導していく。
書くこと	○領域の正答率は、市の平均を7.1ポイント上回っている。 ○無解答が非常に少なく、ほとんどの生徒が回答しており、書くことに対しての抵抗は少ないことが窺える。	・原稿用紙の使い方や、段落構成などの基本的な作文の書き方を指導する。
読むこと	○領域の正答率は、市の平均を6.0ポイント上回っている。 ○特に説明文は正答率が高く、市の平均を11.0ポイント上回っている。 ●心情や様子など、直接書かれている部分が多い所は正確に読み取ることができていたが、人物像など、推察から読み取る問題は正答率が低かった。細かなニュアンスが様々な解釈を生むことが原因と考えられる。	・行間を読む。書かれていることが何を暗示しているかを詳しく結びつける語彙力を指導する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○領域の正答率は、市の平均を1.9ポイント上回っている。 ●対義語の問題は、市の平均より2.1ポイント下回っている。 ●文法の問題は、市の平均より4.7ポイント上回っているものの、正答率は66.3ポイントとやや低くなっている。	・文法の復習。品詞などの理解を含め、反復的に指導していく。 ・資料を用いて、言語知識を身につける授業を工夫する。